

第7回 原子力安全に関する社外評価委員会 議事要旨

1. 開催日時：2021年4月1日（木） 13時30分～15時
2. 開催場所：日本原子力発電（株） 本店会議室（各委員とはWeb会議）
3. 出席者：
＜委員＞ 北村委員長，梅津副委員長，竹田委員，大堀委員，吉田委員，渡部委員
＜対応者＞ 村松取締役社長，劔田取締役副社長，石坂常務取締役，松井常務取締役
4. 要旨

本委員会では，計2回の「実務観察及び意見交換」の対応状況を確認した。

また，2021年度も「実務観察及び意見交換」を継続し，原電の自主的安全性向上の取組みに対する外部オーバーサイトとして評価すると共に，敦賀発電所2号炉ボーリング柱状図記事欄の記載不備や重大な不適合等の対応状況も確認することとした。

なお，コロナ禍の影響で発電所の実務観察をリモートで開催する場合には，良かった点，上手くいかなかった点等の具体的な事例を用いて，現地での実務観察と同等な確認ができるよう工夫する。

本委員会での主な意見は以下のとおり。

- リーダーシップやリスクマネジメントは知識だけでなく知識から意識に，意識から行動に繋げる必要がある。その実現はとても難しいので，いつまでも働きかけ続ける必要がある。
- 社外コミュニケーションと組織内コミュニケーション，共に極めて大きな課題。難しい課題であり，両方大切に頑張りたい。
- 例えば，運転員に失敗するなど伝えるだけでは改善に繋がらない。運転員への期待事項を細分化して，各自の役割毎に期待することを明確にすることがマネジメント側の役目である。
- 原電は自主的安全性向上の取組みを沢山活動している。社会に上手く伝えていくこと。また，社内に情報が浸透して共感を得るのがよい。

なお，本委員会に先立って実施した2020年度の「実務観察及び意見交換」の実績と主な意見は以下のとおり。

第10回（本店：2020年8月7日）

【観察テーマ】

- リスク事案の管理の考え方について
- リーダーシップ育成活動の取り組みと評価について
- 至近に発生したヒューマンエラーについて

<主な助言>

- ・リスクマップの種類や活用方法，日常的なリスクマネジメントの重要性とリスク感受性向上，超高影響×超低頻度のリスクの取扱いに関すること
- ・リーダーシップに関する知見，リーダーシップの評価方法・向上方策，フォロワーシップの必要性

第11回（本店：2018年9月21日）

【観察テーマ】

- リーダーシップ及びリスクマネジメントの育成計画並びにアセスメント要領
- 至近に発生した重大な不適合
 - ・敦賀発電所2号炉ボーリング柱状図の記事欄に係る不適合

<主な助言>

- ・リーダーとリーダーシップは異なること（リーダーシップは影響力，影響過程）
- ・リスクマネジメントにおいて想定除外する場合は説明責任を有すること
- ・アセスメントを各評価項目に因数分解し，5段階評価で見える化することはよい。ただし，総体的に評価することも必要。

以 上

原子力安全に関する社外評価委員会 委員名簿

	氏名	所属・役職等
委員長	北村 正晴	東北大学 名誉教授, (株)テムス研究所 所長
副委員長	梅津 光弘	慶應義塾大学商学部 教授
委員	竹田 敏一	大阪大学 名誉教授
委員	大堀 道広	福井大学附属国際原子力工学研究所 原子炉構造システム・廃止措置部門 准教授
委員	吉田 道雄	熊本大学 名誉教授
委員	渡部 孝男	東北電力(株) 顧問